



# ■ 幼児科アトリエランド 講師資格認定試験【AL2指定課題・要項】《2019年4月～2020年3月》

## 【AL2実技課題】

課題		内容
リズムと電子楽器	①	2拍子の基礎リズム8種を連続して右手で打ちながら左手で8分音符を打ちます。続いて休まずに左右の役割を交替して行ないます。 * イスに座った状態で机を手で打ちます。 * 「右手」と「左手」は同時にスタートします。 * テンポの指定はありません。
	②	当日下記 A または B より指定された4拍子のリズムをクラップし、4分音符をステップします。 「ストップ」の合図があるまで連続して行ないます。 A.  B.  * 「クラップ」と「ステップ」は同時にスタートします。 * テンポの指定はありません。
	③	与えられたピアノ演奏（ミュージックデータ：3/4拍子、12小節）のリズムを1小節遅れでステップします。 * 課題全10曲のリズム譜は事前にお渡しします。当日1曲を指定します。 * ピアノ演奏（ミュージックデータ）のテンポは、「リズムカノン表」（研修時の配布資料）に記載してあります。
電子楽器活用法（★）		「ブチ・エトワール」1巻P.26「ことばのリズム」のページのイラストにふさわしいイメージを、ミュージック・アトリエまたはローランド・デジタルピアノの音色や効果音を使って表現します。その際、簡単な説明を加えながら実施して下さい。 * 演奏前の準備時間も含め、トータルで3分以内にまとめてください。なお、準備時間に音を出すことは可能ですが、事前にUSBメモリーなどに保存しておいた音色を呼び出すことは不可とします。 必ずその場で設定してください。また、必要な場合はご自身でファクトリー・リセットを行なってください。
即興・伴奏付け（★）	①	「これからはじめる即興演奏」P.88より【Scene4. Step6. Lesson2-2】を主要三和音と属7を使用して伴奏付けします。その際、ミュージック・アトリエまたはローランド・デジタルピアノを使用し、曲にふさわしい音色（ピアノ音色以外を選択、エレクトリックピアノ音色は可）を受験者自身が選択することとします。 * 演奏前に30秒間の準備時間を設けますので（音出し可能）、その場で音色を選択してください。 事前にUSBメモリーなどに保存しておいた音色を呼び出すことは不可とします。 * 音程がはっきりしない音色や、非常に立ち上がりの遅い音色など、実際のレッスンに支障が出るような音色を選択した場合は減点対象となります。 * 楽譜は会場に用意されたものを使用します。
	②	4分音符をステップさせるための即興演奏をし、審査員の合図（さんはい）で8分音符をステップさせるための即興演奏へ止まらずに変化させます。 * 合図は1回です。 * 演奏楽器は、ミュージック・アトリエまたはローランド・デジタルピアノを使用し、音色は「ピアノ音」に審査員が設定します。 * 演奏楽器の内蔵リズムは使用不可とします。

## 【AL2筆記課題】

課題	内容（試験時間：30分）
電子楽器活用法	電子楽器使用上の留意点（選択問題） ・「音色」「セッティング」について
	電子楽器活用の効果について（記述問題） ・指定された「言葉」を使用し、電子楽器活用の効果について400～500字にまとめる。
指導法	指導上の留意点（選択問題） ・「子どもとの接し方」「リズム指導上の用語」などについて
	指導上の留意点（記述問題） ・指定された「レッスン項目」を指導するときの留意点や、指導する際の教具について答える。
	指導上の留意点（○×で解答） ・指導上ふさわしい内容かどうかを答える。
システム	ローランド・ミュージック・スクール幼児科のシステムに関する問題（選択問題）

（★）使用楽器はあらかじめ会場にご確認ください。

※AL2研修は、AL3講師資格の保有が受講条件です。

※認定試験は、アトリエランドAL2研修の第1回から第4回までを受講済みであることが受験条件です。

※合格者は4月1日付でAL2講師資格が認定され、次年度以降はAL1研修の受講が可能です。不合格の場合は、AL1研修の受講はできません。




※電子楽器活用法／即興・伴奏付けの使用楽器は、あらかじめ会場にご確認ください。

※得点は、実技課題：200点（リズムと電子楽器100点、即興・伴奏付け100点）、筆記課題：100点の300点満点とし、各項目が70点以上で合格となります。項目がひとつでも70点未満の場合は不合格となります。

※不合格の場合、実技課題と筆記課題の両方を再受験していただきます（有料）。再試験に向けてAL2研修（1回目～4回目）の中から希望される研修を任意で再受講できます（有料）。

# ■ 幼児科アトリエランド 講師資格認定試験【AL1指定課題・要項】◀2019年4月～2020年3月▶

## 【AL1実技課題】

課題		内容
リズムと電子楽器	①	6/8拍子の基礎リズム5種を連続してクラブしながら、付点4分音符をステップします。 *「クラブ」と「ステップ」は同時にスタートします。 *テンポの指定はありません。
	②	当日下記AまたはBより指定された3/4拍子のリズムをステップし、3拍子の指揮をします。 「ストップ」の合図があるまで連続して行ないます。 A.  B.  *「ステップ」と「指揮」は同時にスタートします。 *テンポの指定はありません。
	③	与えられたピアノ演奏（ミュージックデータ：4/4拍子、12小節）のリズムを1小節遅れでステップします。 *課題全10曲のリズム譜は事前にお渡しします。当日1曲を指定します。 *ピアノ演奏（ミュージックデータ）のテンポは、「リズムカノン表」(研修時の配布資料)に記載してあります。
	電子楽器活用法(★)	アトリエランド指導書（改訂版）P.40「2.りすさんとうさぎさんとぞうさん」の2歳児の指導法より、1]を実践してください。その際、ミュージック・アトリエまたはローランド・デジタルピアノの音色や効果音を活用すること。 *演奏前の準備時間も含め、トータルで5分以内にまとめてください。なお、準備時間に音を出すことは可能ですが、事前にUSBメモリーなどに保存しておいた音色を呼び出すことは不可とします。必ずその場で設定してください。また、必要な場合はご自身でファクトリー・リセットを行なってください。
即興・伴奏付け(★)	①	「これからはじめる即興演奏」P.130より【Scene5. Step10. Lesson2-2】を主要三和音、属7、副三和音および借用和音を使用して伴奏付けします。その際、ミュージック・アトリエまたはローランド・デジタルピアノを使用し、曲にふさわしい音色（ピアノ音色以外を選択、エレクトリックピアノ音色は可）を受験者自身が選択することとします。 *演奏前に30秒間の準備時間を設けますので（音出し可能）、その場で音色を選択して下さい。 事前にUSBメモリーなどに保存しておいた音色を呼び出すことは不可とします。 *音程がはっきりしない音色や、非常に立ち上がりの遅い音色など、実際のレッスンに支障が出るような音色を選択した場合は減点対象となります。 *楽譜は会場に用意されたものを使用します。
	②	スキップをさせるための即興演奏をし、審査員の合図（さんはい）で  をステップさせるための即興演奏へ止まらずに変化させます。 *合図は1回です。 *演奏楽器は、ミュージック・アトリエまたはローランド・デジタルピアノを使用し、音色は「ピアノ音」に審査員が設定します。 *演奏楽器の内蔵リズムは使用不可とします。

(★) 使用楽器はあらかじめ会場にご確認ください。

※AL1研修は、AL2講師資格の保有が受講条件です。

※認定試験は、アトリエランドAL1研修の第1回から第4回までを受講済みであることが受験条件です。

※合格者は4月1日付でAL1講師資格が認定されます。

※得点は、実技課題：200点（リズムと電子楽器100点、即興・伴奏付け100点）、筆記課題：100点の300点満点とし、各項目が70点以上で合格となります。項目がひとつでも70点未満の場合は不合格となります。

※不合格の場合、実技課題と筆記課題の両方を再受験していただきます（有料）。再試験に向けてAL1研修（1回目～4回目）の中から希望される研修を任意で再受講できます（有料）。

## 【AL1筆記課題】

課題	内容（試験時間：45分）
電子楽器活用法	電子楽器使用上の留意点（選択問題） ・「録音」「保存」について
	電子楽器を活用した指導例について（記述問題） ・指定された「レッスン項目」を指導する際の、電子楽器活用指導例を400～500字にまとめる。
指導法	レッスンに使用される用語について、指導目的や必要性、あるいは内容やレッスン形態などの設問に答える（記述問題）
	リズム唱について（記述問題） ・リズム唱またはリズム符を答える。
	指定された「レッスン項目」の「指導のねらい」を答える（記述問題）
システム	ローランド・ミュージック・スクール幼児科のシステムに関する問題（選択問題）